

令和6年度 第3回普及啓発講演会報告書

1. 日 時：令和6年9月4日（水）10時00分～12時00分
2. 場 所：清見市民センター
3. 演 題：①人生会議 ②もしバナゲーム
4. 講 師：門司在宅医療・介護連携支援センター 鶴 智子・飯田 稔
5. 参加者：清見市民センター生涯学習講座24名 職員3名
6. アンケート結果（回収19名）



- (1) 性別：男性（1名）、女性（23名）
- (2) 年代：60代（1名）、70代（10名）、80代（7名）、その他（1名）
- (3) 本日の内容について

わかりやすかった（19名）、いくらかわかりやすかった（0名）

【理由】

- ・いろいろなパターンの考え方の紹介が参考になりました。
- ・人生会議ということばを初めて聞きました。大変意義のあるお話でした。
- ・漠然としか考えたことがなかったのに大事なことだと改めて思った。
- ・動画を見ながらの説明で分かりやすかった。今後の事を具体的に考えようと思った。
- ・日頃の考え方がいかに軽いものか反省することばかり。
- ・聞いたことのない言葉、考えたことのなかった事を教えて頂き、うれしかったです。
- ・機器を使った講座で分かり易かったです。



- (4) あなたは、これからの治療やケアについて身近な人と話し合いたい、自分の気持ちを誰かに伝えておきたいと思いますか。

はい（18名）、いいえ（0名）、わからない（1名）

【理由】

- ・私の意思を伝えていた方が物事が決めやすいのではと思います。
- ・急に意識がなくなった時、伝えていたらよいと思いました。
- ・私自身がもしもの時を深く考えることをしていないので、誰かに伝えておきたい。
- ・自分の気持ちを伝えておけば早く、軽くすむ治療になる。
- ・家族が困らないように伝えておきたい。
- ・自分で決められないことを相談しやすい。
- ・家族が負担にならないことが一番だと思っているのでその気持ちを伝えておきたい。

- (5) その他、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせください。

- ・最近終末期のことを真剣に考えている時だったので受講して大変参考になった。（2名）
- ・もしバナゲームで、門司で生まれ育ち、最期までこの地域にいたいと心から門司が大好きだとわかった。
- ・夫婦で参加され、ご主人がもしバナゲームで最期は在宅を希望されたことで、初めて気持ちがわかった。
- ・家族に遠慮せず、まずは「自分の気持ち」を第一に考えてみようと思った。